

## 「教育は人なり」

福井県の教員として採用されてから二十数年、今真っ先に頭に浮かぶのは、「教育は人なり」という言葉です。本来は、「人間として正しく信頼できる人の話は強く言わなくても聞かぬが、人として信頼できない人の話は強く言っても命令しても誰も聞かぬ。」という意味ですが、私はそこに「人と人との繋がり」という意味を加えたいと思っています。

私は、日々の授業はもちろん、目の前の子どもたちに、今しかできない体験を通して学んでほしい、という思いを大切にしながら、実践に取り組んできました。その中で未熟な私を支えてくれたのは、いつの時も子どもたちの笑顔であり、理解ある保護者の方々や同僚の先生方、温かい地域の方々でした。また、各分野で活躍している友人、知人たちに依頼し、ゲストティーチャーとして授業に参加してもらったこともあります。思い出を挙げればきりがありませんが、これまでの教員人生で、自分一人だけの力で成し遂げたと思えることは、何一つないと思っています。

コロナ禍により、人と人との距離を取ることが当たり前になりました。一方で、オンラインで遠隔地との交流も手軽に出来るようになりました。しかし、生成AI等、デジタル技術がどれだけ進んでも、大切なのはやはり「人」だと思ふのです。人と人の繋がり、より良い教育を育てていくのだと実感しています。福井には温かい人が多い。教員という仕事をする上でこんなに心強いことはありません。福井の子どもたちのために一緒に支え合いながら働けることを楽しみにしています。